

平成 28 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	日本語日本文化教育センター・准教授
氏名 Name	水野 亜紀子
専門分野 Academic Field	日本近代文学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	女性作家の師弟関係について
<p>本年度は「女性作家の師弟関係について」という研究テーマを掲げた。この研究は、明治・大正期の女性作家が作家デビューを果たす際、師から受けた指導内容がどのようなものであったか、また、師によって作家の作品がどのように世に送り出されたか、その際にはどのように紹介されたか等に注目しながら、当時の女性に対する意識や女性をめぐる社会状況について考察するものである。個別の例の確認に留まらず、体系的に研究することで（海外の例とは異なった）日本独特の師弟関係のあり方や女性をめぐる問題の本質に迫ることを目標とするが、その足掛かりとして作家ごとの分析を行う。</p> <p>樋口一葉に関する研究は、論文「「雪の日」の伯母」（樋口一葉研究会編『論集 樋口一葉V』平成 29 年 3 月）にその成果の一部を反映させた。これは「雪の日」（『文学界』明治 26 年 3 月）の作品研究である。樋口一葉の作品に与えた半井桃水の影響について考えるなか、「雪の日」自体を論じる必要性を感じ、取り組んだものである。実体験の作品化に伴う問題、語りにまつわる問題、先行作品との関係、語り手の心情に着目して論じられてきた作品であるが、この論文では、養育者として自己表現を行おうとする伯母の「死」が語られていることに着目し、時代背景を考慮しながら当時の女性の生き難さが表現されていることを指摘した。</p> <p>また、田村俊子に関する研究は、口頭発表「田村俊子の小説作法—初期作品を中心に—」（第 26 回日本語日本文化教育研究会、平成 28 年 7 月、於大阪大学）にその成果の一部を反映させた。これは明治三十年代の田村俊子の文体と師の指導内容の関連について論じたものである。</p>	